

# 総括質問

## 清風クラブ



100周年へ向け更なる未来へ、夢と希望にあふれるまち

野崎 審也 議員

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。12月定例会では、13人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

### 令和4年度予算方針

問 来年度の予算編成に当たり予算の方向性を伺う。

市長 令和4年度は総合計画改訂基本計画の折り返しの年度であり、各施策を力強く展開していく。不透明な社会経済情勢であるが、将来にわたり安定した健全財政が維持できるよう中長期的な視点に立ち、限られた財源で最大限の効果を発揮する予算編成とする。

### 市制90周年への思い

問 市制90周年に向けた市長の思いと決意を伺う。

市長 記念式典は行わないが周年事業の実施を検討している。先人が築いた歴史を振り返り、100周年や更なる未来へ向けて夢と希望にあふれるまちとなるよう市政運営にまい進する。

### 第70回七夕まつり

問 七夕まつりや花火大会は開催するのか。

市長 湘南ひらつか七夕まつり実行委員会が協議した結果、4年7月8日から10日までの開催を前提に準備をし、湘南ひらつか織り姫も選出することとした。具体的な内容は4年3月末頃に実行委員会が決定する。花火大会も準備を進めており、最終的には実行委員会決定する。

### ビッグデータの活用

問 ひらつかスタターライトポイントで得たデータを産業施策に活用できないか。

産業振興部長 アプリの利用者約6万人の消費動向などがビッグデータとして蓄積されていると思うので、活用方法を検討したい。

### 結婚への支援の方策

問 若い世代への結婚支援の方策について伺う。

健康・こども部長 結婚支援には経済的な安定につながる施策が必要と考える。資格を取得し安定した雇用を得ることで賃金が上がり住居を確保できるといった

好循環が結果的に結婚につながることから、全庁的に取り組む課題と考える。

問 正規雇用促進補助金の活用も含め、仕事に役立つ知識や技術を習得する仕組みを伺う。

産業振興部長 正規雇用促進補助金は企業側を後押しする補助金で対象を正規雇用に限定しており、若者の生活の安定や結婚支援につながるかと考えている。知識や技術の習得については、国や県が実施する制度を周知している。

### 海辺の公園整備事業

問 龍城ヶ丘の公園整備について、着工延期の理由と延期する期間を伺う。

都市整備部長 既存樹林の更なる保全の検討や、塩と風の調査を実施するために延期した。期間は事業者と協議しており、4年6月末で調整している。

問 調査の内容を伺う。

都市整備部長 地元の一部自治会から、調査の時期や範囲についての要望もあつており、それを踏まえて自治会の協力を得ながら実施する。

### 個人情報の持ち出し

問 真鶴町の個人情報持ち出しに関する報道について、見解を伺う。

市長 市民の個人情報は大切であり、持ち出しは許されるものではないと思う。

### 民事裁判の進捗状況

問 本市元職員への損害賠償請求について、進捗状況を伺う。

と今後の対応を伺う。  
総務部長 横浜地方裁判所小田原支部から和解勧告を受けている状況である。満額の賠償と自らの言葉で市民に説明することを求める考えは変わらないが、和解勧告を重く受け止め、慎重かつ丁寧な対応が必要だと考えている。

### 神奈川大学移転

問 市長と理事長兼学長の面談が行われたことで、大学移転後の跡地利用の検討に具体的な進展が期待されるが、現状を伺う。

副市長 大学からは慎重に検討を進めたいとの考えが示された。今後、大学による検討が進められるに当たって、本市から要望書を提出する準備をしている。

問 面談の具体的な内容を伺う。

市長 跡地利用の模索しているが、現時点では決定事項はないとの話であった。しっかりと情報提供をしてもらいたいということでは伝えている。

地域の課題解決について  
坂間 正昭 議員

問 地元からの要望なども踏まえ、今後どのように協議を進めていくのか。

副市長 大学からの情報を地域へ提供し、協議の場をつくらせていきたい。

問 公共交通の見直しや、地域内移送の実施について考えを伺う。

副市長 地域の生活に必要なバス路線を維持するため、バス事業者と路線再編に向けた協議、検討を進めていく。土屋地区での住民主体の地域内移送は、実施を検討していた2団体が令和2年度に試行で運行を開始し、うち1団体が3年7月から本格運行している。団体へは引き続き情報提供などの支援をしていく。

## 請願・陳情を市議会へ

市民の皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託して審査します。その後、委員会審査の結果を本会議へ報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要としないという違いがあります。提出後は議会運営委員会でその取り扱いについて協議します。



### コミュニティ・スクールの

問 保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域全体で学校づくりを進める取り組みであるコミュニティ・スクールの4年度から4校で導入するが、どのような目的で取り組むのか。

教育長 地域でどのような子供たちを育てるのか、何を實現していくのかという目標やビジョンを地域と共有し、一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を目的として導入する。

問 どのような教育活動が期待できるのか。

教育長 学校が社会とつながり、地域のよりどころとなることで、関わる全ての人にとって魅力ある活動となることを期待できる。

### 水防団の消防団への機能統合

問 水防団をどのように消防団へ機能統合するのか。

防災・危機管理監 蓄積した知見やノウハウを消防団

に継承し、統合後の消防活動及び水防活動が市民の安心・安全に支障を来さないよう体制確保を図る。

問 消防機能体制を今後どのように構築するのか。

消防長 水防団から移行する河川巡視などはすでに消防団が担っており、体制は構築されていると考えるが、本格的な運用を通して更なる充実を図りたい。

### 遠藤原最終処分場の課題

問 平成28年の埋め立て期間延長時に地元自治会から出された要望について、経緯と今後の予定を伺う。

環境部長 期間延長の合意を得た際に設置当初の要望を整理してもらい、改めて

出されたものである。遠藤原集会所の建て替えや防犯街路灯の増設などを順次実施してきたが、県や近隣自治体との調整を要するため完了に至っていない要望もある。引き続き実現に向けた取り組みを進めていく。

副市長 精一杯努力をするべき課題として今後の進め方を検討していくが、全体の政策バランスを踏まえてスケジュールを考え、取り組んでいきたい。

▼このほかの質問 セーフティプロモーションスクール 自然災害への備え 食と農の持続した取り組み 鳥獣被害の減少と捕獲の強化

声や点字の議会だより  
目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。  
問い合わせ 議会局 ☎21-8791